

未来を創るSDGs！WWL 基調講演会（SDGs 講演会）

探究活動の基盤となる知識・教養を深めるため、SDGs講演会を開催しました。SDGsをテーマにした社会課題の解決に向けて、現場の第一線で研究・活動を行っている先生方から、講演をいただきました。高校1・2年生に加え、県内の公立高校・私立高校を対象に、オンラインで配信も行いました。

講演日程・講演者

5月31日（水）6校時【環境分野】地域循環研究所 豊澤 健太 様

6月14日（水）6校時【社会分野】一般社団法人OBAMA ST. 山東 晃大 様

7校時【経済分野】長崎大学経済学部 山口 純哉 様

6月28日（水）6校時【国際分野】JICA長崎 小田 智子 様

Think Globally, Act Locally —SDGsと地方創生— 地域循環研究所 豊澤 健太 様

初回は、「環境」をテーマに行政からの視点を交え、NPO 法人地域循環研究所の豊澤先生より第一次産業の現状と課題について講話をいただきました。「木は間伐など、人の手を加えることによって丈夫になり木材となる」、「人が管理することで自然災害に強い森林となる」など自然との共生や循環型社会の実現、エネルギー問題について言及され、生徒は環境問題を幅広く考える貴重な機会になりました。会の最後に生徒から「ペーパーレスが広がっていくと、林業の終焉につながるのでは？」という質問があり、それに対して豊澤氏は、「切り出した木からつくられる紙の割合は少なく、多くが建材用や家具用またはペレット（燃料）として使われる。今後も木の暖かさや優しさを感じながら生活するためにも、企業や社会はペーパーレスに積極的に取り組むべき」と回答されました。



「知りたい」「学びたい」から探究を始める (一社) OBAMA ST. 山東 晃大 様

次に、「社会」分野として、OBAMA ST.の山東先生より講話をいただきました。山東先生は、再生可能エネルギー（特に地熱発電と洋上風力発電）によって地域にどれくらいのお金が落ちるか数値化する研究（地域経済付加価値分析）を専門とされており、2012年から長崎県小浜温泉にて地域住民と地熱発電所の取り組みに携わっておられます。講演ではまず、ご自身のこれまでの取り組みについてご紹介いただきました。その後、20年後の世界について、気候変動や人工知能、Chat GPTなどの登場により予測がいかに難しいかについてお話をいただきました。このように世界が変化を続ける中で、「世界の変化を想像してみること」「『探究』・『学び』続けること」「小さなことから始めること」が大切であるとお話をいただきました。また、探究を始める足掛かりとして、「『好きなこと』から『知りたい』『学びたい』ことを見つけて、そのワクワクに身を任せてみよう！」というメッセージをいただきました。



ともに良き世を創るために～問題解決はじめの一步～ 長崎大学経済学部 山口 純哉 様

「経済」分野の講演では、長崎大学経済学部の山口先生より、これまでに取り組んでこられた諸問題、貧困と経済（税）の問題、震災からの復興や地域創生、ボランティア活動のあり方等についてお話をいただき、課題解決のプロセスや姿勢について学びました。問題解決に向けて各個人がもつ「理想（正解）」の多様性を考えること、固定観念を捨てることなどが大切だと学ぶことができ、探究をすすめていく生徒たちにとって、大いに参考になりました。また、地域社会の変化とグローバル社会についてお話いただきました。価値観の変化（世代間のギャップ）、人口減少・少子高齢社会、頻発する自然災害、途上国の労働環境など、多くの問題について改めて考える機会となりました。さらにはこれからの地域社会が目指すべき方向性についてのお話では、具体例を紹介していただき、考えを深めることができました。



「経済」分野の講演では、長崎大学経済学部の山口先生より、これまでに取り組んでこられた諸問題、貧困と経済（税）の問題、震災からの復興や地域創生、ボランティア活動のあり方等についてお話をいただき、課題解決のプロセスや姿勢について学びました。問題解決に向けて各個人がもつ「理想（正解）」の多様性を考えること、固定観念を捨てることなどが大切だと学ぶことができ、探究をすすめていく生徒たちにとって、大いに参考になりました。また、地域社会の変化とグローバル社会についてお話いただきました。価値観の変化（世代間のギャップ）、人口減少・少子高齢社会、頻発する自然災害、途上国の労働環境など、多くの問題について改めて考える機会となりました。さらにはこれからの地域社会が目指すべき方向性についてのお話では、具体例を紹介していただき、考えを深めることができました。

いつか世界を変える力になる

JICA 長崎 小田 智子 様

4回目の「共生」分野においては「国際貢献」をテーマに、JICA 長崎で国際協力相談員として活躍中の小田先生に講演をいただきました。JICA は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行い、開発途上国への国際協力を行う機関です。小田先生は、以前、青年海外協力隊としてパラグアイで活動した経験にもとづいて、国際貢献に対する考えを話されました。ご自身は音楽が得意だったので、現地では先生にクラリネットやオーケストラの指導をしたり、子どもたちには音楽の授業もしたりしたとのこと。はじめの頃は、なかなか自分の思いが伝わらず、「何でわかってくれないの？」「当たり前でしょ？」と思うことがしばしばあり気分が沈んだとのことですが、その後現地の文化や価値観を尊重するようになってから、充実した活動ができるようになったと話されました。最後の「いつか〇〇を変える力になる」のフレーズが印象に残り、将来世界で活躍することを目標に掲げる東高の生徒の心に響く講話でした。



今回の講演会では、2年生14名が運営を担いました。終了後の感想を紹介します。

- 地元長崎県の話から、地球の裏側の国のことまで様々な場所の様々な課題、魅力について発見が多く、非常に有意義なものでした。僕たちも、そんな問題にかかわることになると思います。身が引きしめる思いと同時に、講師の先生方のように活躍できるかもしれないと思うと心が躍りました。
- 物事を多面的にとらえることや今の状況にとらわれずに考えていくことの大切さを学びました。探究活動でもこのような考え方を通じて、高校生にしか出せない答えを出していきたいと思いました。
- 講師の方がそれまでの人生で学んできたことや探究活動をしていく上でのヒントを得ることができました。課題解決に対して「困っている人のために頑張るべきで、独りよがりになってはいけない」と考えを改めることができました。
- 他県から来られた方が長崎の魅力に気づいて移住する、そして長崎の活性化に努めてくれる。これはすごく良いことで嬉しいなと思ったし、そういう人が増えるように私たちから何か他県の人に発信できないかなとも思いました。運営として関わったからこそ沢山のことを感じる事が出来ました。